事業名称	**能勢から、新たな文化観光をつくる**　Nose Fieldwork Project
事業者名	**有限会社デコラティブモードナンバースリー**
事業内容	【概要】　都市近郊でありながら豊かな里山環境が広がる能勢町において、都市部とは異なる大阪の魅力を伝えることを目指し、農林業・食・ものづくりなどの地域資源を来訪者がより深く知ることのできる文化観光プログラムの開発を目指す。 町内でのフィールドリサーチを行い、その成果をもとにモデルプログラムの検討・モニターによる検証を行う。 ①フィールドリサーチの実施 能勢の自然、農林業、食、ものづくり、暮らしなどを対象に、現地調査や地域住民、生産者、事業者等への聞き取りを行い、文化観光につながる地域資源や魅力を探る。 ②モデルプログラムの開発 フィールドリサーチの成果をもとに、複数の地域資源や人の営みを横断的につなぎ、その関係性を通して能勢という土地への理解が深まる文化観光のモデルプログラムを開発する。 例えば、地域の農業生産者から能勢で育つ食材や地域に根付いた調理方法について学び、料理を味わうだけでなく、その料理に用いる器や道具をものづくりの視点から制作するなど、「農」「食」「ものづくり」を一連の体験としてつなぐプログラムを想定。具体的な内容はフィールドリサーチを通して整理、地域関係者との協議を踏まえ決定。 ③モニター実施・効果検証 開発したモデルプログラムについて、大阪市内の学校関係者や料理人、アーティスト・クリエイター等を対象にモニターを実施する。開催後にはモニター参加者及び地域協力者に対してアンケート・ヒアリング等を行い、一般向けプログラムとして展開する際の内容、対象者、実施方法、運営体制等を検証する。 【実施日】　2026年12月～2027年3月　　※具体的な実施日は、地域関係者及びモニター協力者との調整のうえ決定する。 12月下旬～2月：フィールドリサーチ（15件程度）・モデルプログラム開発（2プログラム程度） 2～3月：モニター実施（2回程度）・効果検証・改善・成果整理 【出展者など】　各モデルプログラムの内容に応じて、能勢町内の農業生産者、林業・木材関係者、ものづくり事業者・職人、食文化に関わる人、地域文化・歴史等に詳しい地域住民等に協力を依頼する予定。 【その他】　リサーチ及びモニター実施の過程を写真・映像等で記録し、WEB・SNS等を通して発信する。
都市魅力創出等に資する点	①都市部とは異なる「大阪の魅力」の可視化：大阪府最北端の能勢町を舞台に、その土地の文化や暮らしへの理解が深まる文化観光プログラムとして組立てることにより、都市部とは異なる大阪の魅力を新たに可視化し、能勢を訪れるきっかけをつくる。 ② 大阪観光の選択肢を広げる地域体験の提案：大阪市内を中心とした都市観光とは異なる、自然や文化、地域の暮らしに触れる体験を、新たな大阪の楽しみ方の一つとして提案する。大阪を訪れる人の関心や行動範囲を都市部から周辺地域へと広げるきっかけをつくることで、府内周遊の促進や滞在の多様化につながる可能性があると考える。 ③ 継続的な来訪・交流につながる関係づくり：将来的には、文化観光プログラムの継続実施に加え、滞在型プログラムや地域で活動するための拠点づくりも展開し、一度訪れて終わる観光ではなく、何度も能勢を訪れ、地域との関係を深めていく人を増やすことをめざす。本事業を起点に、能勢と継続的に関わる人を増やし、新規事業者や移住者の増加にもつなげ、地域の活性化と大阪の都市魅力向上にも貢献していく。
事業継続、発展性	2026年度を文化観光プログラムの開発・実証期間と位置付け、2027年度以降は、モニター検証を通して実現性の高かったプログラムから一般向けに実施し、参加者の反応や地域側の運営状況を踏まえながら、内容、料金、実施頻度、運営体制等を改善していく。さらに、中長期的には、能勢町内の空き家ストック等についても調査し、宿泊、制作、地域交流等に活用できる拠点の可能性を検討する。日帰りの文化観光から滞在型の体験へと発展させることで、能勢で過ごす時間や地域との関わりを深めていく。
申請金額	8,279,000円　（必要寄附額：11,827,143円）